2024年3月期 第1四半期 決算補足説明資料



株式会社オープンドア (証券コード: 3926)



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2024年3月期 1Q業績概要
- 4. 2024年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料



1. ハイライト

- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2024年3月期 1Q業績概要
- 4. 2024年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

ハイライト



■ 旅行市場の近況

- ・ 国内旅行市場については、コロナ感染者数の減少や新型コロナ5類移行などにより回復基調を維持、7月以降も緩やかに回復傾向が 続きコロナ前の水準に近づいていく見込み
- 海外旅行市場についても回復傾向にあるが、世界的な物価上昇や円安による旅行費用の高騰等の影響があり、特にレジャー旅行市場については回復ペースは緩やかで、コロナ前の水準に近づくのは来年以降の見込み
 - *5ページ「新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響」参照

■ 2024年3月期 1Q実績

- 売上高 **652百万円**(前期1Q比 **+47.9%**、2020年3月期1Q比 **▲49.7%**)
- 営業利益 **14百万円**(前期1Q実績 ▲**49百万円**、 2020年3月期1Q実績 **558百万円**)
- コロナ感染者数の減少や新型コロナ5類移行などによる旅行需要の回復をうけて、売上高及び営業利益ともに前年を大きく上回り着地
- 四半期ベースでみた回復率も上昇傾向が持続 *8ページ「2024年3月期1Q業績概要/四半期業績推移」参照
- 積極的な開発投資を継続(売上原価 前1Q比 +67百万円)、広告においても今後の需要の回復を見越しアプリ広告を中心に強化 (販管費 前1Q比 +79百万円)

■ 2024年3月期 業績予想

- 旅行市場の回復傾向は底堅いが、いまだ不確実な要素も多く回復ペースの精度の高い予測が難しいため2024年3月期の業績予想に ついては「未定」とするが、市場の回復に比例した業績の顕著な回復を見込む
- 強固な財務基盤に加え需要に比例した業績回復を見越して引き続き開発投資を進めサービスの拡充及び競争力の強化を図る
- プロモーション施策についてはネット広告を主軸に市場状況も見ながら柔軟に判断
 - ※ 2024年3月期1Q:自己資本比率 87.4%、現預金残高 約29億円

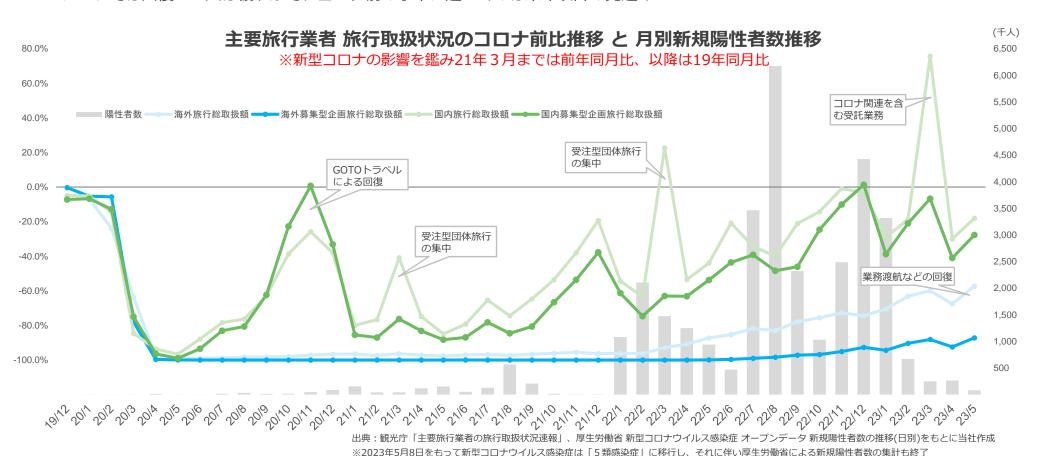


- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2024年3月期 1Q業績概要
- 4. 2024年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響



- 総取扱額は受託業務(コロナ関連を含む)や業務渡航・団体旅行などの手配旅行を含むため、レジャー旅行市場需要と連動率の高い 募集型企画旅行の取扱額を合わせて表示
- 国内旅行市場については、コロナ感染者数の減少や新型コロナ5類移行などにより回復基調を維持、7月以降も緩やかに回復傾向が続きコロナ前の水準に近づいていく見込み
- 海外旅行市場についても回復傾向にあるが、世界的な物価上昇や円安による旅行費用の高騰等の影響があり、特にレジャー旅行市場については回復ペースは緩やかで、コロナ前の水準に近づくのは来年以降の見込み





- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2024年3月期 1Q業績概要
- 4. 2024年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

2024年3月期 1Q 業績概要 / 損益計算書



- コロナ感染者数の減少や新型コロナ5類移行などによる旅行需要の回復をうけて、売上高及び営業利益ともに前年を大きく上回り着地
- 積極的な開発投資を継続(売上原価 前1Q比 +67百万円)、広告においても今後の需要の回復を見越しアプリ広告を中心 に強化(販管費 前1Q比 +79百万円)

単位:百万円					2023/3	2024/3		
					1 Q実績 (前期)	1 Q実績 (当期)	増減額	2023/3 1Q比
売		上		高	441	652	+211	+47.9%
	売	上	原	価	166	233	+67	+40.9%
売	上	総	利	益	275	418	+143	+52.1%
販売費及び一般管理費					324	403	+79	+24.4%
営	業		利	益	-49	14	+64	-
経	常		利	益	-34	20	+54	-
当	期	純	利	益	-35	0	+36	-
営	業	利	益	率	_	2.3%	-	-

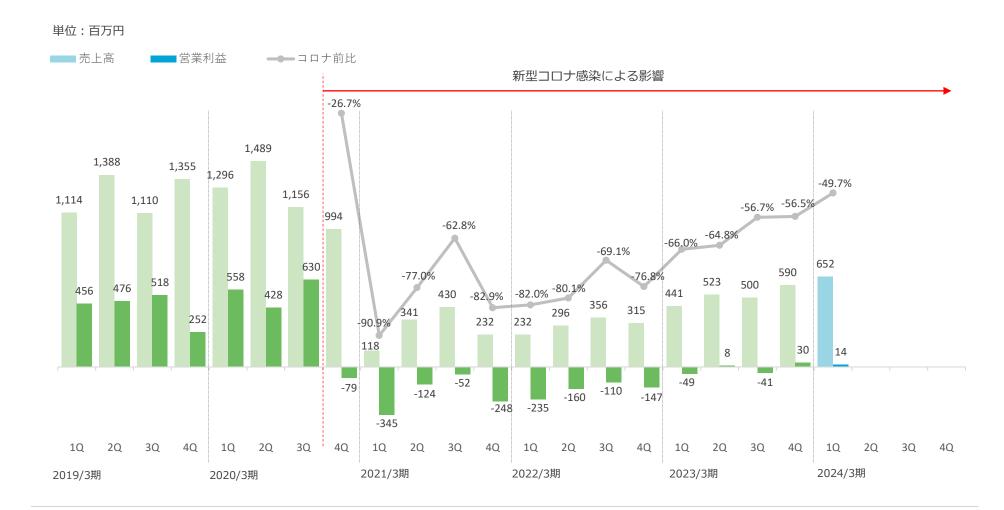
2023/3 4Q実績	2023/3 4Q比		
590	+10.5%		
231	+0.9%		
358	+16.8%		
327	+23.2%		
30	-51.5%		
35	-42.9%		
17	-94.8%		
5.2%	-		

2020/2	
2020/3	2020/3
1Q実績	10比
	(コロナ前比)
1,296	-49.7%
165	+41.7%
1,131	-63.0%
572	-29.6%
558	-97.3%
559	-96.4%
348	-99.7%
40.40/	
43.1%	_

2024年3月期 1Q 業績概要 / 四半期業績推移



- 売上トレンドはコロナ前と異なるが顕著な回復傾向
- 四半期ベースでみた回復率も上昇傾向が持続





- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2024年3月期 1Q業績概要
- 4. 2024年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

2024年3月期 1Qの取り組み



1Qは19件の開発案件をリリース、更に50件以上の案件が進行中

最近のリリース一例

新規:海外旅行保険

・海外旅行保険比較サービスを開始



国内ツアー

- ・スマホUIリニューアル
- 宿泊施設別表示を追加



国内ホテル・宿

・PCにホテルプラン詳細情報追加



国内航空券+ホテル

・スカイパックツアーズ新規連携





- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2024年3月期 1Q業績概要
- 4. 2024年3月期 10の取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

2024年3月期 業績予想



旅行市場の回復傾向は底堅いが、いまだ不確実な要素も多く回復ペースの精度の高い予測が難しいため2024年3月期の業績予想については「未定」とするが、市場の回復に比例した業績の顕著な回復を見込む

強固な財務基盤に加え需要に比例した業績回復を見越して引き続き開発投資を進めサービスの 拡充及び競争力の強化を図る

プロモーション施策についてはネット広告を主軸に市場状況も見ながら柔軟に判断

※ 2024年3月期1Q:自己資本比率 87.4%、現預金残高 約29億円



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2024年3月期 1Q業績概要
- 4. 2024年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

今後の主な取り組み予定 / トラベルコ





- 需要回復期における市場ニーズに対応したプロモーション
- 既存メニューのリニューアル及び機能強化
- 新規連携強化による商品情報の拡充
- 国内及び海外の人気スポットなどの観光情報拡大
- 各メニューのクチコミ・評価サービス拡充
- 横断比較サービスのメニュー拡大 (民泊・アウトドア・日帰りレジャーなど)
- 旅行会社向けサポートツールの提供
- サイトデザインリニューアル
- チャットAIのサービスへの導入

今後の主な取り組み予定 / TRAVELKO





- 現地大手サイトとの連携強化による価格優位性の確立
- ユーザーインターフェース ローカライゼーション強化
- アプリ版TRAVELKOの機能拡充
- 観光情報の拡充
- ■プロモーションの実施



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2024年3月期 1Q業績概要
- 4. 2024年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

2024年3月期 第1四半期 / 貸借対照表



- 自己資本比率87.4%で高い水準を維持
- 現預金残高は2,944百万円

単位:百万円						2023/3末 実績	₹	2023/6末 実績		増減額
		流重	协資産	E E		3,	419	3,4	444	+24
	現	金	及 ひ	ド預	金	2,	987	2,9	944	-43
	そ		の		他		432	ļ	500	+67
		固定	E資産	<u>z</u>		2,	983	3,2	210	+227
		資產	全合計	t		6,	403	6,0	654	+251
									-	
	流動負債						348		369	+20
	固定負債						385	4	455	+70
	負債合計						734		825	+90
	純資産合計					5,	668	5,8	829	+161
	資		本		金		648	(648	-
	資	本	剰	余	金		473	4	473	-
	利	益	剰	余	金	3,	776	3,	777	+0
	そ		の		他		770	(930	+160
	負債純資産合計					6,	403	6,0	654	+251

会社概要(2023年6月末時点)



会社名 株式会社オープンドア

設立 1997年4月

代表者 代表取締役社長 関根 大介

資本金 648百万円

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場(証券コード:3926)

旅行比較サイト「トラベルコ」 事業内容 多言語旅行比較サイト「Travelko」

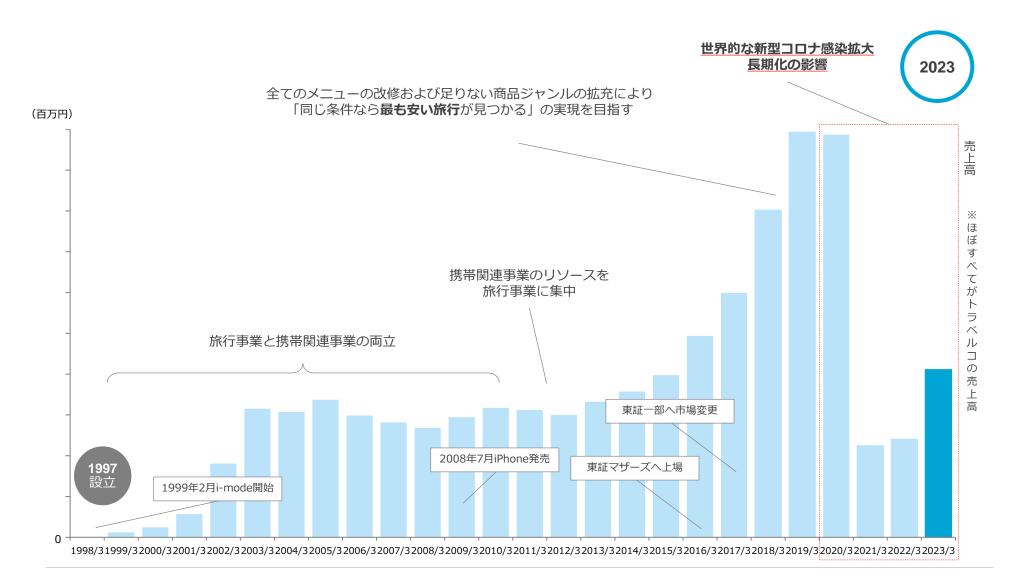
伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」「KOGEI JAPAN」の運営

連結子会社 ホテルスキップ株式会社 出資比率100% ホテル・航空券の予約、手配、販売

従業員数 連結200名

これまでの歩みと売上高の推移





当社サービス / 旅行比較サイト「トラベルコ」



1,500以上の旅行サイトの商品を比較・検索できる旅行比較サイト





当社サービス / 多言語旅行比較サイト「Travelko」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした海外版トラベルコ





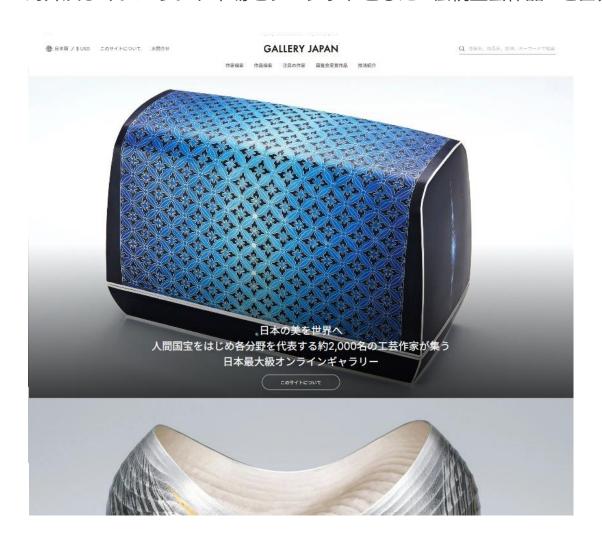
対応言語

英語 中国簡体字 繁体字(台湾) 繁体字(香港) 韓国語

当社サービス / 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした"伝統工芸作品"を世界へ紹介するサイト



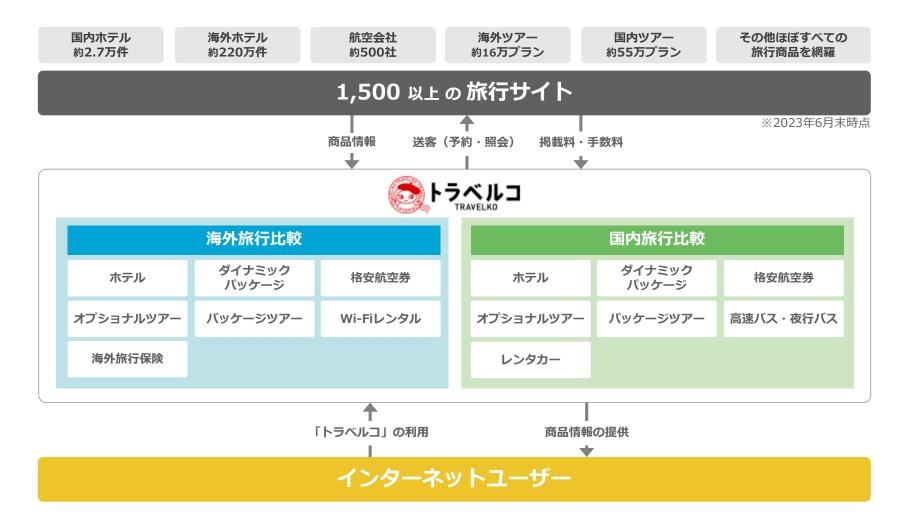


対応言語 英語 日本語

トラベルコ / ビジネスモデル



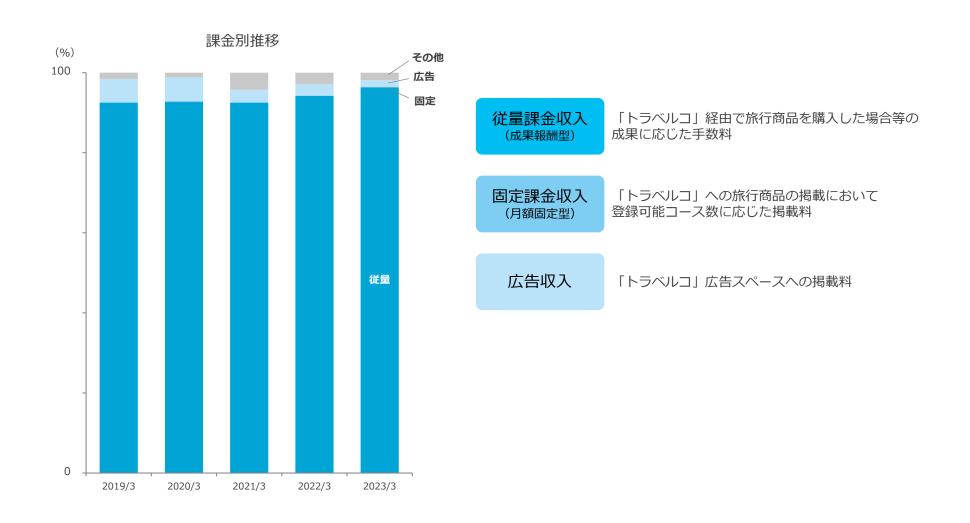
ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル



トラベルコ / 収益モデル



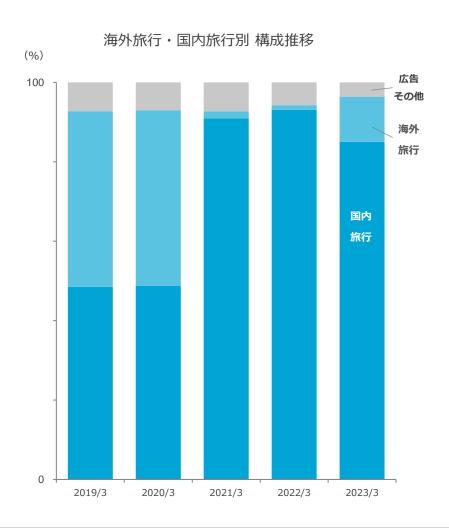
収益モデルは成果報酬型の従量課金収入がメイン



トラベルコ / 海外旅行・国内旅行別売上高構成



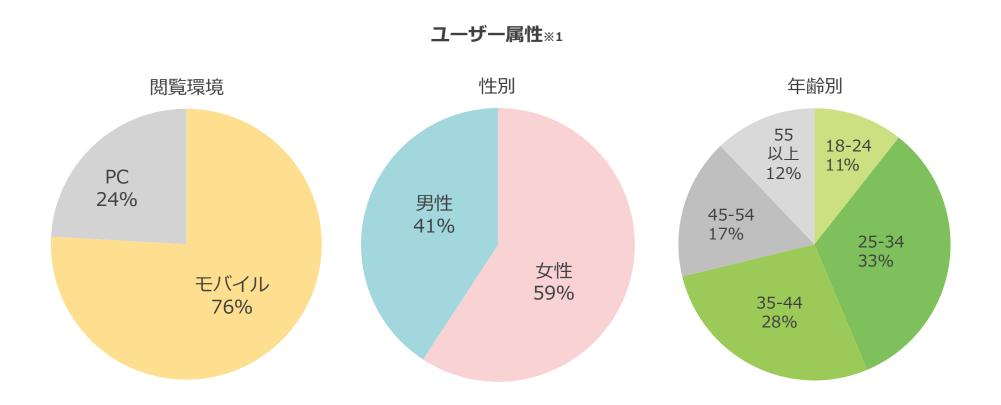
新型コロナの影響で2023年3月期も国内旅行がほとんどを占める



世界的な新型コロナ感染拡大の影響により 海外渡航制限が続いたことで 売上高構成割合が大きく変動



新型コロナの影響を大きく受けユーザー属性傾向の参考になりにくいため2020年3月期データを使用



※1 2019/4-2020/3までの当社アクセス解析データ

トラベルコの強み・特徴サマリー①



多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか?

1. ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。ホテル、航空券、パッケージツアー、オプショナルツアー、レンタカー、高速バス、海外Wi-Fiレンタルなど。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。

海外旅行比較							
ホテル	ダイナミック パッケージ	格安航空券					
オプショナルツアー	パッケージツアー	Wi-Fiレンタル					
海外旅行保険							

国内旅行比較						
ホテル	ダイナミック パッケージ	格安航空券				
オプショナルツアー	パッケージツアー	高速バス・夜行バス				
レンタカー						

2. 最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が1,500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。

それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合が多いのです。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB クラブツーリズム JALパック 小田急電鉄JR東海ツアーズ 近畿日本ツーリスト 日本旅行HIS 東武トップツアーズ 阪急交通社 ANA X西鉄旅行 名鉄観光サービス ベルトラ

楽天トラベル 一休 るるぶトラベル Yahooトラベル

Expedia Booking.com agoda Trip.com

エアトリ Spring Japan スカイチケット スターフライヤー

...1,500以上の旅行サイト

トラベルコの強み・特徴サマリー②



なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか?

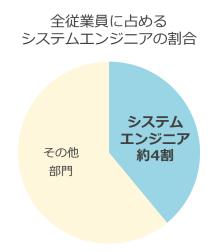
ほぼ全てのシステム開発を内製化

これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、1,500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、 スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、約80名のシステムエンジニアが 日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いてい ます。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全 ての進化を支える開発体制が実現できています。

この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。



本資料の取り扱いについて



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計 原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。



株式会社オープンドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、 下記までお願いいたします。

株式会社オープンドア 管理本部

TEL: 03-5545-7215 FAX: 03-3586-8708

ホームページ: https://www.opendoor.co.jp

30